

教育部・活動方針（案）

教育部長 秋葉 吉男
部付 浅野 史行

《活動目標》

1. 「ろう教育を考えるフォーラム2015 in 千葉」の開催
県内の特別支援教育諸学校に所属する聴覚障害教職員の組織化を図るための第一歩として、「聴覚障害教職員は語る」をテーマにした座談会と、全国の状況について学ぶための講演等を行う。
2. ろう児が手話での教育を受けられるように求めていく
「手話言語法（仮称）」の中には、ろう児が手話での教育をきちんと受けられる環境の整備を求めており、聞こえない子どもの「手話を獲得する」「手話で学ぶ」「手話を使う」といった権利の保障の実現に向けて、千葉県教育委員会及びろう学校・特別支援学校に働きかけていく。
3. ろう学校とのパイプづくりに努めていく
ろう教育を考えるフォーラムで話し合われた事柄を整理し、ろう児の日本語習得と手話やキュードスピーチによるコミュニケーション方法の現実と課題について、ろう学校との話し合いの場を設ける。
4. 聴覚障害教職員の職場での情報コミュニケーション保障についての配慮を求めていく
聴覚障害教職員は、ろう学校をはじめ特別支援学校にも配属されて、研修、職場での情報保障が十分ではない現状があることから、千葉県教育委員会及びろう学校・特別支援学校に働きかけていく。

《事業計画》

1. 「ろう教育を考えるフォーラム2015 in 千葉」の開催
1月～2月
2. ろう学校との話し合い
8月
3. 聴覚障害教職員への実態調査
6月頃から